

科目名	リベラルスタディーズ I				担当	酒井 真由子							
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年後期	実務経験	—						
必修	—				ナンバリング	KB106	DPとの 関連	(幼) 2 (総) 1					
授業概要	本講義は、信州大学教育学部の講義をインターネット中継で聴講するものである。講義内容は、信州大学教育学部の教職必修科目のひとつである。信州大学との合同授業となるため、信州大学の教員・学部生との交流との交流の中で講義を進めていく。授業計画や授業内容の詳細については、後期のオリエンテーションで配布するシラバスに載せる。												
到達目標 学習成果	本講義は、信州大学教育学部の講義である。そのため、本講義の目的は、信州大学の教員から支持される。信州大学・上田女子短期大学の教員からの指示をよく聞くこと。												
授業計画	回	内容											
	1	ガイダンス	履修に関して、上田女子短期大学教員から説明する										
	2	前半部教員による講義	2－7回は、前半部を担当する教員による講義である。また、数回ビデオ講義もある。上田女子短期大学側から、質疑応答や読み聞かせ等で、信州大学と交流することもある										
	3												
	4												
	5												
	6												
	7	後半部教員による講義	9－15回は、後半部を担当する教員による講義である。上田女子短期大学側から、質疑応答やコメントシート等によって講義に参加する										
	8								中間テスト	前半部教員の講義内容を試験する			
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
15													
評価基準	本講義は、信州大学教育学部との合同講義であるため、信州大学から評価基準が提示される。その受講条件に従うこと。												
評価方法	信州大学教育学部の講義における評価方法に則る ※例年は、コメントシート、および中間試験・期末試験による評価である												
フィードバック 方法	信州大学教育学部の講義におけるフィードバック方法に則る												
アクティブ ラーニング	グループワーク												
教科書	講義資料は配布する予定である。 例年は、田中智志、今井康雄編『キーワード 現代の教育学』（東京大学出版会、2009年）が、信州大学側で教科書として指定されている。上田女子短期大学側では、必要に応じて教員が配布する予定である。												
参考書	授業中、適宜指示する												
履修条件	信州大学との合同授業に参加するための、必要な準備等を行うこと。具体的には、授業中の指示等を、適切に実施することである。												
授業外学習	授業中に示される参考資料等を読解すること												
オフィスアワー	授業中に適宜指示する												